薬を飲むと長生きできない！内海聡医師による初新書「薬が人を殺している」発売

報道関係者各位
プレスリリース

2015年3月16日
株式会社竹書房

ーーー

なかった「乳児突然死症候群」なる病気が出現したのはなぜか？」「睡眠キャンペーンを実施した自治体で自殺者が増えたのはなぜか？」。

実は一般的に「効く」と信じて飲まれている薬の大半は効果がないどころか、危険な副作用で健康を損なうものばかりなのです。
本書では、気鋭の内科医・内海聡が海外でのデータも紹介しながら、知られていない薬の危険な真実を解き明かします。

また、薬の毒はある程度解毒が可能です。損なった健康を取り戻す解毒の方法についても紹介していきます。

【本書の主な内容】
・ワクチン――ワクチンとは何か?
ワクチンは何でできている?
ワクチンを打てば打つほど感染症にかかりやすい
ワクチンと子どもの病気
副作用が危険な子宮頸ガンワクチン
ポリオワクチンが小児麻痺をつくる
予防できないインフルエンザワクチン
風疹罹患者の70%はワクチン接種済み
子どもに危険な百日咳やジフテリアや破傷風のワクチン
・精神薬――伏魔殿のような精神医学精神薬は麻薬と同じ
今日の気分はクスリ次第
モノアミン仮説の嘘
・抗ガン剤――日本人の死亡原因1位はガン
抗ガン剤はガンを治さない
世界最初の抗ガン剤の正体
抗ガン剤の副作用
医師は自分に抗ガン剤を使わない
抗ガン剤はリバウンドする
ガン治療をやればやるほど逆効果
・生活習慣病の薬の嘘
健康診断の基準数値には意味がない
コレステロール降下薬使用で本来の免疫力が落ちる
死亡率がかえって増す血圧降圧剤使用
消化器疾患を起こす低用量アスピリン
殺鼠剤としても使用される抗血栓薬
アルミニウム入りの胃薬で認知症リスク?
本物の麻薬に似た咳止め薬
免疫反応を殺す解熱鎮痛剤
副作用が危険なタミフルはカネのなる木
余計な血液製剤投与でガン再発リスク増大
無意味な抗生物質使用が医原病を招く
薬価が非常に高い骨粗鬆症薬の効果は不明
ガンの発生率が高まるステロイド軟膏など
うつ病や神経症をもたらす抗ヒスタミン薬
脳卒中や子宮頸ガンのリスクを高めるホルモン剤・ピルなど

【商品情報】
タイトル：『薬が人を殺している～知っておきたい有害作用と解毒のすすめ』
著者：内海聡
新書
定価：本体800円＋税

【著者について】
内海聡（うつみさとる）
現在NPO法人薬害研究センター理事長としてワクチン、精神病薬その他の「薬害」問題に携わっている。同時に自身の経営する Tokyo DD Clinic
では薬害に苦しむ患者に対して解毒治療を行っている「薬害」治療の第一人者。また、自身の活動をフェイスブックにて発信し、現在フェイスブック人気ユーザーランキング第10位(2015年2月 現在)と、FB上日本で最も注目されている医師。

【株式会社竹書房について】http://www.takeshobo.co.jp/
1972年設立。主に麻雀漫画誌「近代麻雀」や、4コマ漫画等の専門雑誌、書籍、コミック、写真集、DVDなどを取り扱う出版社です。

【お問い合わせ先】
本書の内容等についてのお問い合わせ 竹書房 第二編集部 松本
TEL: 03-3234-6204 FAX: 03-3261-0764 E-MAIL: matsumoto@takeshobo.co.jp
本書につきましての取材、プレゼント等のお問い合わせ 竹書房 広告宣伝部 小林
TEL: 03-3264-1529 FAX: 03-3264-2078 E-MAIL: release@takeshobo.co.jp

---

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com